

# ダイワ・バリューアップ・ファンド

## 運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2021年2月15日)

(作成対象期間 2020年8月18日～2021年2月15日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	約15年間(2006年2月15日～2021年2月15日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行なわない場合があります。

委託会社は、信託契約締結日から3年経過後、各計算期末ごとに直近2年間の平均残存受益権口数(各月末をもって計算します。)が30億口を下る場合には、わが国の公社債等の安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させます。

◇TUZ0471720210215◇

<4717>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
26期末(2019年2月15日)	9,858	0	△ 11.2	1,577.29	△ 7.1	97.7	0.7	6,350
27期末(2019年8月15日)	9,188	0	△ 6.8	1,483.85	△ 5.9	94.3	—	5,420
28期末(2020年2月17日)	10,399	150	14.8	1,687.77	13.7	98.3	—	5,659
29期末(2020年8月17日)	9,621	0	△ 7.5	1,609.82	△ 4.6	98.3	—	5,067
償還(2021年2月15日)	11,239.75	—	16.8	1,953.94	21.4	—	—	3,857

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

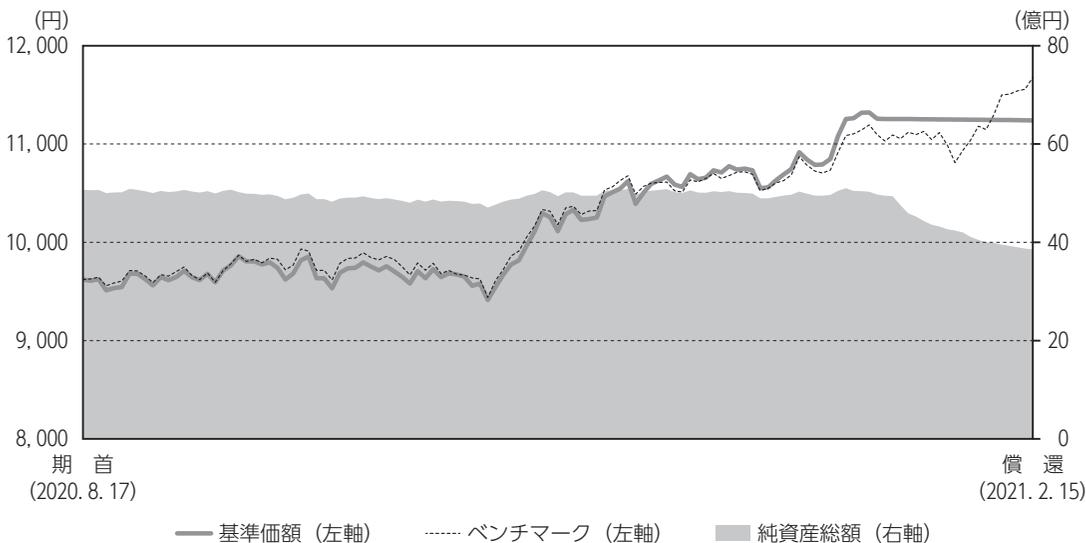
(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*ベンチマークはTOPIXです。

#### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：11,239円75銭（既払分配金2,100円）

騰落率：35.6%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

国内株式に投資した結果、株式市況の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・バリューアップ・ファンド

年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首)2020年8月17日	円	%		%	%	%
	9,621	—	1,609.82	—	98.3	—
8月末	9,646	0.3	1,618.18	0.5	98.7	—
9月末	9,634	0.1	1,625.49	1.0	97.2	—
10月末	9,412	△ 2.2	1,579.33	△ 1.9	97.5	—
11月末	10,392	8.0	1,754.92	9.0	98.4	—
12月末	10,842	12.7	1,804.68	12.1	95.6	—
2021年1月末	11,249	16.9	1,808.78	12.4	—	—
(償還)2021年2月15日	11,239.75	16.8	1,953.94	21.4	—	—

(注) 騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2006. 2. 15 ~ 2021. 2. 15)

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

設定時から2007年半ばまでは、国内経済が好調だったことから国内株式市場は堅調に推移しました。その後、米国のサブプライム・ローン（信用力の低い個人向け住宅ローン）問題に端を発する金融不安や米国大手証券会社が経営破綻したことをはじめとする欧米の金融機関の経営危機により、金融市場全般で緊張感が高まったことで、株式市場は2009年初めにかけて大幅な調整を余儀なくされ、2011年3月の東日本大震災を経て、2012年12月の衆議院選挙で自民党が圧勝するまでボックス圏内の動きにとどまりました。しかし安倍前政権がスタートした2012年12月から当ファンドが償還した2021年2月までの国内株式市場は、基調的には堅調な上昇を続けました。2015年の中国・人民元切下げや2016年の日銀のマイナス金利導入、中国経済への懸念などから市場がやや大きく調整した局面もありましたが、米国大統領選挙でのトランプ氏当選により同氏の景気刺激政策への期待が高まったこともあり、2016年半ばには上昇基調に入りました。2018年に入ると、米国の長期金利上昇や米中貿易摩擦の行方をにらみながらの一進一退の展開となり、年末のF R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げや世界経済の成長鈍化への懸念が高まったこともあって大きく下落しました。2019年に入るとF R Bが金融政策の軟化を示唆したことが好感され、また、米中貿易問題解決への期待が高まったことも相まって堅調に推移しました。2020年1月以降は新型コロナウイルスの感染が拡大したことで株価は大幅に下落しましたが、その後の各国の金融政策や財政政策に対する期待によって回復しました。2020年後半にかけては、国内の自民党総裁選挙や米国大統領選挙などが終了して選挙に対する不確実性が後退したことや新型コロナウイルスワクチンの実用化期待が高まったことから株価は大幅に上昇しました。

### 信託期間中の運用方針

主としてわが国の金融商品取引所上場株式に投資し、バリュー重視の運用を行うことにより、長期的にT O P I X（東証株価指数）を上回る投資成果をめざします。銘柄の選定にあたっては、主に次の観点から行います。

イ. 事業の再構築力

ロ. 本業の技術力、市場展開力

また、P E R（株価収益率）、P B R（株価純資産倍率）等の指標から見て、割安と判断されるポートフォリオを構築します。

## 信託期間中のポートフォリオについて

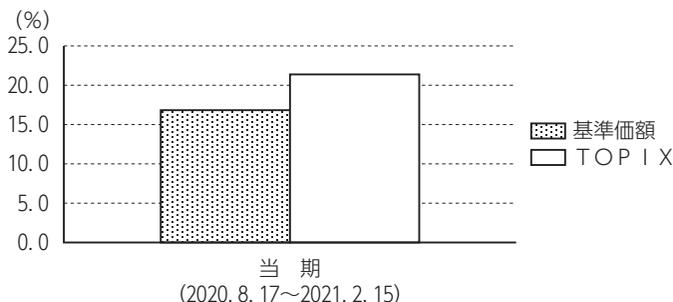
(2006. 2. 15 ~ 2021. 2. 15)

当ファンドは、株式組入比率を90%程度以上（株式先物を含む。）で維持することを基本としております。バリュー重視の運用を行うことをコンセプトとして、取得時にP E R（株価収益率）あるいはP B R（株価純資産倍率）から見て割安と判断される銘柄の中から、事業再構築力、本業の技術力、市場展開力などの定性的な面でいずれかが優れていると判断される銘柄への投資を行ってまいりました。また、業況の改善や事業再構築などで低迷局面から脱し、投資妙味が出てきたと判断される企業、株価指標面で割安感が強く、業績の改善などをきっかけとして水準訂正に向かう可能性が高まったと判断できる企業など幅広い観点から銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。

## ベンチマークとの差異について

当作成期におけるベンチマーク（T O P I X）の騰落率は21.4%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は16.8%となりました。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第2期350円、第19期1,000円、第22期200円、第23期100円、第24期300円、第28期150円の収益分配を行いました。なお、第1期、第3期～第18期、第20期～第21期、第25期～第27期、第29期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 8. 18～2021. 2. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0.834%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,296円です。
(投 信 会 社)	(42)	(0.403)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.051	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.051)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	91	0.885	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

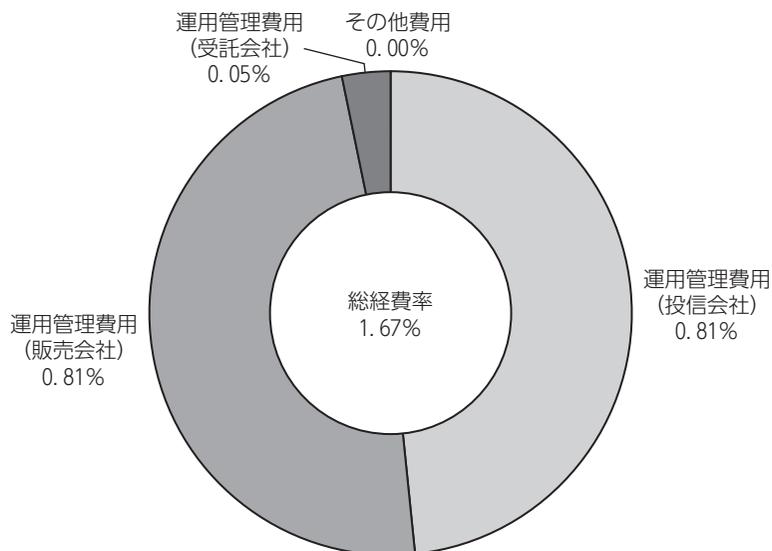
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ・バリューアップ・ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 株 式

(2020年8月18日から2021年2月15日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
	千株	千円	千株	千円
国内	200.7 (△ 107.6)	468,456 ( ー)	2,690.2	6,205,975

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年8月18日から2021年2月15日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,674,431千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,793,283千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 株 式

(2020年8月18日から2021年2月15日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
クボタ	29.6	59,333	2,004	信越化学	8	149,831	18,728
全国保証	10.3	43,121	4,186	第一三共	41.1	149,804	3,644
AGC	11.9	37,731	3,170	伊藤忠	45.3	141,460	3,122
東京都競馬	7.1	34,870	4,911	日立	29.2	126,378	4,328
フジールインターナショナル	16.9	34,597	2,047	東京海上HD	22.4	125,918	5,621
B E E N O S	14	33,921	2,422	日本電信電話	45	123,618	2,747
マブチモーター	6.1	24,779	4,062	ソフトバンクグループ	17.6	117,919	6,699
日立	5.6	22,538	4,024	三井物産	57.8	114,982	1,989
日本曹達	6.4	20,102	3,140	東京エレフトラコン	2.6	112,568	43,295
富士紡ホールディングス	5.4	19,803	3,667	村田製作所	11	110,595	10,054

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年8月18日から2021年2月15日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	468	121	25.8	6,205	200	3.2
コール・ローン	92,823	—	—	—	—	—

#### (2) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2020年8月18日から2021年2月15日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,508千円
うち利害関係人への支払額 (B)	459千円
(B) / (A)	18.3%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

国内株式

銘柄	期首	銘柄	期首	銘柄	期首
	株数		株数		株数
	千株		千株		千株
<b>鉱業</b>		<b>ゴム製品</b>		東京エレクトロン	2.6
国際石油開発帝石	27.3	TOYO TIRE	8.5	<b>輸送用機器</b>	
<b>建設業</b>		ブリヂストン	2.9	豊田自動織機	4.8
ウエストホールディングス	0.4	<b>ガラス・土石製品</b>		デンソー	10.6
ミライト・ホールディングス	12.5	日本碍子	15.7	トヨタ自動車	13.4
大成建設	5	日本特殊陶業	11	ミクニ	1.9
熊谷組	7.5	ニチアス	19.3	太平洋工業	33.7
住友林業	13.1	ニチハ	7	アイシン精機	6.3
大和ハウス	7.2	<b>鉄鋼</b>		本田技研	22.5
協和エクシオ	15	日本製鉄	23.9	スズキ	10
九電工	8.8	日本冶金工	8.5	<b>精密機器</b>	
日揮ホールディングス	18.2	<b>非鉄金属</b>		セイコーHD	18.7
OSJB HD	40	大紀アルミニウム	25	<b>その他製品</b>	
<b>食料品</b>		三井金属	13.7	大日本印刷	22.7
ブルボン	1.3	住友鉱山	11	任天堂	0.8
日本ハム	8.1	住友電工	18.1	<b>陸運業</b>	
太陽化学	0.2	アサヒHD	11.8	東急	15
<b>繊維製品</b>		<b>金属製品</b>		東日本旅客鉄道	4.8
グンゼ	6.1	SUMCO	25	東海旅客鉄道	1.8
東洋紡	32.1	川田テクノロジーズ	7.4	センコーグループHLDGS	32.3
セーレン	10	三和ホールディングス	32.3	福山通運	2.1
ワールド	4.1	日東精工	2.9	<b>海運業</b>	
<b>化学</b>		マルゼン	2	商船三井	16.5
旭化成	64.7	<b>機械</b>		<b>空運業</b>	
クレハ	6	タクマ	39.8	日本航空	5.4
信越化学	8	FUJ I	12	<b>倉庫・運輸関連業</b>	
日本化学工業	2.8	ソディック	23.3	三井倉庫 HOLD	13.3
四国化成	4.4	三井海洋開発	15	<b>情報・通信業</b>	
三菱瓦斯化学	17.1	SMC	1	Zホールディングス	100
大阪有機化学	9.4	ダイキン工業	4.1	伊藤忠テクノソリューションズ	4.1
旭有機材	20.9	オルガノ	4.4	日本ユニシス	4.1
リケンテクノス	9.7	ダイフク	3.8	日本電信電話	45
ダイキアクシス	9.9	キトー	20	KDD I	29.3
第一工業製薬	16.9	JUK I	19.3	ソフトバンク	41.7
三洋化成	2.2	日本トムソン	48.1	光通信	1
大日本塗料	4.1	IHI	27.5	NTTドコモ	7.5
デクセリアルズ	29	スター精密	1.4	ソフトバンクグループ	17.6
藤森工業	3.7	<b>電気機器</b>		<b>卸売業</b>	
天馬	5.5	日立	23.6	アルコニックス	21.6
<b>医薬品</b>		富士電機	15	ダイワボウHD	4.7
武田薬品	29.6	明電舎	12.8	三洋貿易	26.8
アステラス製薬	14.8	EIZO	2.6	伊藤忠	45.3
あすか製薬	7.4	日本信号	8.1	三井物産	57.8
沢井製薬	3.9	パナソニック	24.5	スターゼン	3.3
第一三共	13.7	ソニー	10.2	三菱商事	11.7
ダイト	1.3	TDK	6	<b>小売業</b>	
大塚ホールディングス	14	アドバンテスト	11.5	J. フロントリテイリング	13
<b>石油・石炭製品</b>		キーエンス	1.7	コメリ	11.8
出光興産	8.2	村田製作所	11	ヤマダホールディングス	97.3
ENEOSホールディングス	38.9	リコー	48.8		

## ダイワ・バリューアップ・ファンド

銘柄	期首	銘柄	期首	銘柄	期首
	株数		株数		株数
	千株		千株		千株
<b>銀行業</b>		MS & AD	12.5	京阪神ビルディング	13.2
三菱UFJフィナンシャルG	175	東京海上HD	22.4	<b>サービス業</b>	
三井住友トラストHD	14	<b>その他金融業</b>		日本工営	2.9
三井住友フィナンシャルG	22.5	全国保証	1.1	丹青社	12.1
セブン銀行	50	クレディセゾン	4.8		千株
みずほフィナンシャルG	150	オリックス	52.8	合計	2,597.1
<b>証券・商品先物取引業</b>		<b>不動産業</b>		株数	
SBIホールディングス	17.5	三井不動産	14.1	銘柄数	143銘柄
<b>保険業</b>		平和不動産	7.4		
SOMPOホールディングス	7.5	東京建物	30		

### ■投資信託財産の構成

2021年2月15日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	3,939,835	100.0
投資信託財産総額	3,939,835	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月15日現在

項目	償還時
<b>(A) 資産</b>	<b>3,939,835,789円</b>
コール・ローン等	3,939,835,789
<b>(B) 負債</b>	<b>82,623,254</b>
未払解約金	41,994,857
未払信託報酬	40,627,519
未払利息	878
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>3,857,212,535</b>
元本	3,431,759,530
償還差損益金	425,453,005
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,431,759,530口</b>
1万口当り償還価額 (C/D)	11,239円75銭

\* 期首における元本額は5,266,740,985円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,834,981,455円です。

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は11,239円75銭です。

### ■損益の状況

当期 自 2020年8月18日 至 2021年2月15日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>44,351,165円</b>
受取配当金	44,410,653
受取利息	255
その他収益金	2,421
支払利息	△ 62,164
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>551,740,503</b>
売買益	697,465,694
売買損	△ 145,725,191
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 40,627,972</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>555,463,696</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 105,284,996</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 24,725,695</b>
(配当等相当額)	( 26,486,467)
(売買損益相当額)	(△ 51,212,162)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>425,453,005</b>
償還差損益金 (G)	425,453,005

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年2月15日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年2月15日		資産総額	3,939,835,789円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	82,623,254円
				純資産総額	3,857,212,535円
受益権口数	94,957,703,970口	3,431,759,530口	△91,525,944,440口	受益権口数	3,431,759,530口
元本額	94,957,703,970円	3,431,759,530円	△91,525,944,440円	1単位当り償還金	11,239円75銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	103,737,281,052	102,641,819,791	9,894	0	0.00
第2期	92,189,193,610	97,943,199,775	10,624	350	3.50
第3期	70,122,430,017	67,614,414,799	9,642	0	0.00
第4期	63,182,924,321	48,901,471,717	7,740	0	0.00
第5期	58,358,452,043	42,132,320,336	7,220	0	0.00
第6期	53,349,652,426	23,688,133,589	4,440	0	0.00
第7期	46,075,317,747	25,778,447,564	5,595	0	0.00
第8期	37,324,700,076	19,740,837,262	5,289	0	0.00
第9期	33,195,655,068	16,342,823,408	4,923	0	0.00
第10期	29,492,619,764	17,362,861,226	5,887	0	0.00
第11期	25,885,488,238	12,512,539,337	4,834	0	0.00
第12期	21,889,588,230	10,953,535,039	5,004	0	0.00
第13期	19,857,833,370	9,125,400,604	4,595	0	0.00
第14期	18,789,425,577	11,092,029,218	5,903	0	0.00
第15期	17,383,487,016	12,797,626,064	7,362	0	0.00
第16期	16,262,311,798	13,137,061,171	8,078	0	0.00
第17期	15,382,634,636	13,450,213,156	8,744	0	0.00
第18期	13,876,071,822	13,787,046,533	9,936	0	0.00
第19期	11,693,734,243	12,791,063,254	10,938	1,000	10.00
第20期	11,039,439,083	9,367,409,702	8,485	0	0.00
第21期	10,524,146,607	9,143,145,776	8,688	0	0.00
第22期	9,249,833,275	9,780,763,369	10,574	200	2.00
第23期	8,094,305,227	8,663,805,348	10,704	100	1.00

ダイワ・バリューアップ・ファンド

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 単 位 当 り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第24期	7,099,344,273	8,259,877,657	11,635	300	3.00
第25期	6,768,978,892	7,518,575,055	11,107	0	0.00
第26期	6,441,636,492	6,350,438,252	9,858	0	0.00
第27期	5,899,882,767	5,420,549,886	9,188	0	0.00
第28期	5,442,357,661	5,659,537,108	10,399	150	1.50
第29期	5,266,740,985	5,067,212,526	9,621	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	11,239円75銭